



広島大学

広島大学大学院理学研究科
生物科学専攻

第1回 細胞生物学研究室セミナー

2016年7月25日（月）14:30-15:30

理学部E棟002号室

（理学部ピロティエーから入って右手の部屋です）

武石明佳 博士

ブランダイス大学生物学部・行動遺伝学ナショナルセンター

線虫が温度を感知する仕組み~ボストンでの研究留学体験談

「温度」は生物の生存に影響を与える重要な環境因子であり、多くの生物は環境温度を感知して適切な行動を生み出す。土壌線虫に属する *C. elegans*（線虫）は微小な温度勾配を感知し、飼育温度領域に向かって移動することが知られている。しかしながら、線虫の温度受容体は長年の間、謎に包まれていた。我々は、線虫の温度受容神経に特異的に発現するグアニル酸シクラーゼが新規の温度受容体として機能することを示唆する結果を得たので報告したい。

また今回、私自身のこれまで約4年間のボストンにおける留學生活についても紹介したい。日本とは異なる文化の中で、出産や子育てなどのライフイベントも経験し、研究以外の面でも充実していた。海外での生活は不自由もあるが、留學で得られるものは非常に大きく、大学院生の皆さんが少しでも海外留學に興味を持っていただければ幸いである。

追記：本セミナーでは前半に線虫を用いた最新の行動遺伝学の話（*Neuron* 90, 235-244, 2016）、後半に研究留學体験について紹介して頂きます。研究・留學に興味のある学部学生・大学院生は気軽に聞きに来てください。教員の皆さまのご来場もお待ちしております。

連絡先：理学研究科生物科学専攻・細胞生物学研究室
千原崇裕（内線：7443）tchihara@hiroshima-u.ac.jp